



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 株式会社 MonotaRO
コード番号 3064 URL <http://www.monotaro.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 雅哉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理部長 (氏名) 田中 秀和

TEL 06-4869-7190

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日

平成25年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	15,991	16.9	2,061	44.8	2,074	44.1	1,336	61.4
24年12月期第2四半期	13,677	—	1,423	—	1,439	—	828	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 1,330百万円 (60.1%) 24年12月期第2四半期 831百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	22.06	21.56
24年12月期第2四半期	13.87	13.47

(注)平成23年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	12,022	6,701	55.3
24年12月期	11,265	5,588	48.7

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 6,645百万円 24年12月期 5,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年12月期	—	6.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の平成24年12月期の中間配当金及び期末配当金はそれぞれ4円、年間配当金は8円に相当いたします。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,333	22.9	4,046	38.3	4,046	37.6	2,407	42.5	39.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期純利益の予想値は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) NAVIMRO Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の有無となります。
なお、詳細につきましては、添付資料の3ページを参照してください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	61,226,400 株	24年12月期	60,860,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	532,026 株	24年12月期	524,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	60,595,284 株	24年12月期2Q	59,713,027 株

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足以降、政府主導の経済・金融政策の影響とその期待感から、円安・株高が進む展開となり、輸出関連企業を中心とした企業マインドの好転により、一部で景気回復の兆しが見え始め、全体としては、穏やかな景気持ち直し基調で推移いたしました。

一方、当社グループが主として販売する工場間接資材業界におきましては、一部業種の国内生産活動が回復傾向にあるものの、主たる販売先である製造業全体の設備稼働率は、引き続き低位に推移しており、今後の景気刺激政策による景気好転が期待されております。

このような経済環境のなか、当社グループは、データマイニングツールを活用した効率的なファクシミリやダイレクトメールによるチラシの発行、インターネットを使った広告など、引き続き積極的なプロモーション活動を展開しました。さらに、昨年11月にねじ・ボルト関連の取扱いアイテム数350,000点超という国内最大級の品揃えを実現したことに伴い、本年3月にこれのなかから特に厳選した約15,000点の商品を掲載の「ねじ・ボルトカタログ Vol.1」を新規に発行しました。加えて本年2月には、取扱いアイテム数300万点突破を実現させ、あらゆる業種のあらゆる間接資材をワンストップでご購入いただける環境を一層充実させ、顧客の幅広い要望に対応すべく、顧客の利便性向上と間接資材購買の効率化サポートに積極的に取り組んでまいりました。このほか、販売面では、日替わり特価や各種キャンペーンの実施など、顧客の購買意欲の高揚策も積極的に行ってまいりました。これらの施策を実施したことにより、当第2四半期連結累計期間中に111,345口座（注）の新規顧客を獲得することができ、当第2四半期連結会計期間末現在の登録会員数は、1,003,507口座（注）となり、ついに大台の100万口座突破を達成いたしました。

なお、本年1月に連結子会社でありました株式会社K-engineは、当社が保有する全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。また、本年1月に韓国において、当社全額出資で子会社を設立し、連結子会社として、4月から本格的に事業を開始しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は15,991百万円（前年同期比16.9%増）となりました。一方、利益面では、出荷量の増加に伴う物流部門を中心とした人員増加による人件費の増加や新規顧客獲得促進等によるプロモーション費用の増加はあったものの、売上総利益の増加で十分吸収できたため、営業利益は2,061百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益は2,074百万円（前年同期比44.1%増）、四半期純利益は子会社株式売却による特別利益の計上もあり、1,336百万円（前年同期比61.4%増）と増益を達成することができました。

（注）口座数は単体の数値であります。

事業の品目別の業績概況は、次のとおりであります。

①工場消耗品

作業工具、清掃用品及びスプレー等の売上が堅調に推移した結果、売上高は6,472百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

②工場交換部品

物流・保管用品、電気材料及び制御機器等の売上が好調に推移したほか、自動車アフターマーケット向け自動車整備・トラック用品の売上が大きく寄与し、売上高は6,422百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

③その他

科学研究・実験器具、事務用品及び工事用品関連商品等の売上が堅調に推移し、売上高は3,096百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して756百万円増加し、12,022百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末と比較して627百万円増加した結果、10,736百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金の増加345百万円、売掛金の増加223百万円及び商品の増加180百万円であります。固定資産は129百万円増加して1,285百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して356百万円減少し、5,320百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比較して406百万円減少した結果、5,173百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、未払金の減少471百万円であります。固定負債は50百万円増加して147百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1,112百万円増加し、6,701百万円となりました。これは主として四半期純利益1,336百万円及び配当金の支払241百万円などによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末と比較して6.6ポイント増加し、55.3%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、政府主導の経済政策や金融政策によって、円安や株価上昇が進行し、景況感に明るい兆しが見え始めてきましたが、輸入品を中心とする原材料価格の高騰や電気料金の値上げなどによる景気回復の減速懸念が広がるなか、中国をはじめとする新興国の経済成長の減速による世界経済の下振れ懸念や不安定な為替相場など、先行きに不安を抱えた不透明な経済環境であるといえます。

このような経済環境のなか、当社グループは、積極的なプロモーション活動と利便性向上策の実施など、顧客の離脱防止と新規顧客の獲得により、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高においては、計画を若干下回りましたが、利益においては、概ね計画を若干上回る結果となりました。今後の見通しにつきましては、決して楽観できるものではありませんが、現時点において、平成25年1月29日に公表いたしました平成25年12月期の連結業績予想（通期）に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新規設立したNAVIMRO Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。なお、第1四半期連結会計期間に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,925,592	3,270,628
売掛金	2,868,409	3,091,524
商品	2,892,239	3,072,419
未着商品	142,835	75,801
貯蔵品	112,872	37,313
未収入金	1,021,414	1,024,444
その他	173,667	187,955
貸倒引当金	△27,352	△23,271
流動資産合計	10,109,678	10,736,816
固定資産		
有形固定資産	171,324	181,195
無形固定資産	762,953	828,091
投資その他の資産		
差入保証金	136,168	138,313
その他	101,908	155,112
貸倒引当金	△16,298	△17,169
投資その他の資産合計	221,778	276,256
固定資産合計	1,156,055	1,285,543
資産合計	11,265,734	12,022,359
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,178,842	2,152,625
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払金	966,409	495,047
未払法人税等	844,575	943,550
賞与引当金	34,740	38,544
役員賞与引当金	24,663	20,883
その他	230,807	222,541
流動負債合計	5,580,039	5,173,192
固定負債		
役員退職慰労引当金	87,268	140,020
その他	9,598	7,346
固定負債合計	96,866	147,366
負債合計	5,676,906	5,320,559

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,616	1,810,554
資本剰余金	576,154	615,092
利益剰余金	3,267,044	4,362,545
自己株式	△125,197	△143,063
株主資本合計	5,489,617	6,645,127
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△6,532
その他の包括利益累計額合計	—	△6,532
新株予約権	68,077	63,205
少数株主持分	31,132	—
純資産合計	5,588,827	6,701,800
負債純資産合計	11,265,734	12,022,359

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,677,176	15,991,165
売上原価	9,846,555	11,075,900
売上総利益	3,830,621	4,915,264
販売費及び一般管理費	2,406,896	2,853,635
営業利益	1,423,724	2,061,628
営業外収益		
受取利息	18	339
為替差益	12,211	8,652
販売奨励金	2,506	4,663
その他	10,001	9,592
営業外収益合計	24,737	23,247
営業外費用		
支払利息	6,334	5,927
たな卸資産処分損	1,754	2,035
その他	764	2,053
営業外費用合計	8,853	10,017
経常利益	1,439,608	2,074,858
特別利益		
子会社株式売却益	—	138,404
特別利益合計	—	138,404
特別損失		
固定資産除却損	30	6,499
特別損失合計	30	6,499
税金等調整前四半期純利益	1,439,577	2,206,762
法人税、住民税及び事業税	624,801	930,225
法人税等調整額	△16,341	△60,305
法人税等合計	608,459	869,919
少数株主損益調整前四半期純利益	831,117	1,336,843
少数株主利益	2,635	—
四半期純利益	828,482	1,336,843
少数株主利益	2,635	—
少数株主損益調整前四半期純利益	831,117	1,336,843
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△6,532
その他の包括利益合計	—	△6,532
四半期包括利益	831,117	1,330,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,482	1,330,310
少数株主に係る四半期包括利益	2,635	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,439,577	2,206,762
減価償却費	126,518	166,967
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,755	△3,209
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,444	△495
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,544	△3,780
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	54,949	52,752
受取利息	△18	△339
支払利息	6,334	5,927
子会社株式売却損益(△は益)	—	△138,404
売上債権の増減額(△は増加)	△438,381	△236,277
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,978	△50,591
未収入金の増減額(△は増加)	25,672	917
仕入債務の増減額(△は減少)	134,548	△1,041
未払金の増減額(△は減少)	△291,825	△441,661
その他	115,903	6,410
小計	1,162,534	1,563,937
利息の受取額	18	232
利息の支払額	△6,304	△5,834
法人税等の支払額	△610,307	△829,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,940	728,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△15,585	△41,532
無形固定資産の取得による支出	△134,210	△201,681
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	70,835
その他	45	△7,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,750	△379,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	17,270	63,207
自己株式の取得による支出	△24,425	△17,866
配当金の支払額	△209,212	△242,094
その他	△1,164	△1,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,531	△197,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△5,953
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,658	145,035
現金及び現金同等物の期首残高	1,519,895	2,825,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,698,553	2,970,628

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

当社グループは、工場用間接資材販売業の単一セグメントであり、地域別においても国内事業以外の事業について重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。